

## 生産遅延のお知らせ

5月14日(日)製炭活動中、火災が発生し屋根が焼失してしまいました。関係者の皆様、応援して下さる皆様にはご迷惑をおかけし大変申し訳ございませんでした。

製炭業の中で一番大変な作業が窯打ち(窯づくり)だそうです。この窯を打った人は大変な労力を使い、製炭されていた方はたくさんの思い出が詰まっていると思います。

今後は対策と計画を練って、早く製炭活動を再開できるよう励んでいきたいと思っています。生産が遅れておりますが、時山炭の在庫はまだございますので、遠慮なくご注文をよろしくお願いいたします。(裏面の後記もご覧ください)



現在の炭窯

## 5月のイベント

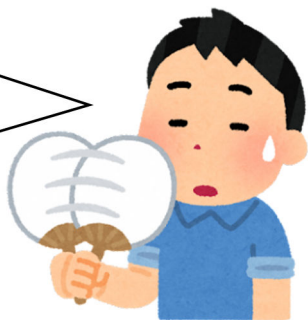
5月17日に時小の3・4年生が炭窯見学にみえました。今の4年生は去年も訪れているので、屋根のなくなった炭窯を見て驚いていました。3年生も興味深げに炭を手にとってくれました。実際に炭を使って食べ物を焼いて食べてもらえる機会があればいいなと思いました。

21日には時地区球技大会がありました。私は去年に引き続き息子と一緒にグランドゴルフに楽しく参加できました。ソフトバレーも見学しましたが、熱気がすごかったです!



グランドゴルフ 烏帽子岳と

裏面もあるよ



暑いときは、手の指先、脇、後頸部を冷やすといいですね

## 鍼灸師としての雑感 ～やっぱり甘酒～

だんだんと暑くなってきました。夏と言えば甘酒(夏の季語)ですね。それも麴から作った甘酒です。熱中症対策にも使われます。甘酒の効果は何ととっても「飲む点滴」とも言われるほどの栄養素。他にも「美肌」などの効果があります。

私も風邪を引いたり、体調が悪かったりしたら甘酒を第一候補にしています。砂糖の代用としても使えます。もっとも体に良い甘味料の一つだと思います。



# 「保存会」がサポーター会員募集

時山炭サポーターズクラブへの入会を呼びかける中村さん(左)と保存会の川添公男会長(右)=大垣市役所で



## 中村さんアピール 割引など特典も

会員証の見本。裏には法文先などの情報が書かれている



入会費や年会費は無料。登録には住所、氏名、連絡先などが必要で、入会するとお試し品として炭1kgを無料で渡す。会員は一般価格よりも五十円引きで購入できる。価格は炭の形や原木の種類によって異なり、1kgあたり二百五十〜三百五十円。

大垣市上石津町で伝統の「時山炭」の製炭を担う「時山炭保存会」が今月、サポーターズクラブを設立して会員を募集している。クラブに入会すると、炭を割引価格で購入できるなどの特典を受けられる。地域おこし協力隊員として製炭に携わる中村明弘さん(左)は「多くの人に時山炭を知ってもらい、使ってほしい」と願う。

# 時山炭生活に取り入れて

時山炭は、燃焼材として使うと火持ちが良く、煙が少ないのが特徴。時山地区の寒い気候を生かし、江戸や明治時代に盛んに作られていたとされる。伝統を後世に残すため、昨年八月から中村さんが保存会の指導を受けて製炭技術を学んでいる。これまでに千六百kgほどの炭を作り在庫が確保できたことから、販売促進のためにクラブの設立を決めた。中村さんは「良質な炭は消臭や調湿にも役立ち、非常時の燃料として備蓄することもできる」として「生活に炭を取り入れるきっかけになれば」と入会を呼びかけている。申し込みや問い合わせは時山炭保存会(市上石津地域事務所地域政策課) 0584(45)3113へ。

## 後記

冒頭でも申し上げましたが、今回の火災で、ご迷惑をおかけし申し訳ありませんでした。事情を知った方から「手伝えることがあったら言ってね」「頑張っ続けてね」と優しい言葉をかけていただけました。上石津は本当に温かい人が多くありがたく思っています。

製炭業は火災の他にも、蜂や蛇などの刺傷や咬傷、伐木作業中の事故などいろいろな危険が付きものです。今後、より一層注意して作業をしないといけないと改めて思いました。

今は、今後の製炭活動の再開に向けて時山炭保存会の皆様と思索しております。次回の「ときYeahmanだより」では、よいニュースを届けられるように尽力いたしますので、どうか温かい目で見守ってください。